

令和7年度 事後評価シート

【事務事業シート】

当初	事 項	玉川ダム発電施設管理運営費								予算主管課	河川課		
	事 業 概 要	玉川ダムに設置したダム施設管理用発電設備の保守点検や修繕を行うとともに、余剰電力を売却した利益をダム共同所有者に配分する。								始期	2016		
										終期			
	K P I	小水力発電機の稼働によるCO2の排出削減量											
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
		R 4 年 度		目標値	474 t-CO2		目標値	474 t-CO2		目標値	474 t-CO2		
		実績値	365 t-CO2		実績値	313 t-CO2		実績値	713 t-CO2		実績値	612 t-CO2	
		実績値	365 t-CO2		実績値	313 t-CO2		実績値	713 t-CO2		実績値	612 t-CO2	
		実績値	365 t-CO2		実績値	313 t-CO2		実績値	713 t-CO2		実績値	612 t-CO2	
		実績値	365 t-CO2		実績値	313 t-CO2		実績値	713 t-CO2		実績値	612 t-CO2	
	ストック /フロー	フロー		達成率	66.03 %		達成率	150.4 %		達成率	129.1 %		
	コ ス ト		最終現計 予算額	26800 千円		最終現計 予算額	25921 千円		最終現計 予算額	29611 千円		最終現計 予算額	千円
決算額			14168 千円		決算額	23161 千円		決算額	20961 千円		決算額	千円	
				繰越額	千円		繰越額	千円					
				不用額	8650 千円		不用額	千円					
7 年 度	要因分析	要因											
		総括											
	見直し方向性	維持	発電増強による温室効果ガスの排出抑制にも資する洪水調節容量の一部に流水を貯留する弾力的管理（試行）の運用を実施しているところであり、また、7年度はKPIを達成していることから維持する。										

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初

7年度	事業概要	カーボンニュートラルポート形成計画策定事業費							予算主管課		港湾海岸課				
		脱炭素社会の実現に貢献するため、県が管理する重要港湾4港（三島川之江港、東予港、松山港、宇和島港）において、カーボンニュートラルポート形成計画（港湾脱炭素化推進計画）を策定する。							始期						
									終期						
	K P I	対象4港湾の計画策定進捗率													
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
		R 4 年 度		目標値	25 %		目標値	100 %		目標値	0 %				
		実績値	0 %		実績値	25 %		実績値	25 %		実績値	100 %			
		実績値	%		実績値	%		実績値	100 %		実績値	%			
		ストック /フロー	ストック		達成率	100 %		達成率	25 %		達成率	100 %			
		達成率	%		達成率	25 %		達成率	100 %		達成率	%			
		コ ス ト		最終現計 予算額	3401 千円		最終現計 予算額	28999 千円		最終現計 予算額	28438 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	3401 千円		決算額	28997 千円		決算額	25950 千円		決算額	千円	
				繰越額	千円		繰越額	千円							
				不用額	2488 千円		不用額	千円							
要因分析	要因														
	総括 港湾脱炭素化推進計画（カーボンニュートラルポート形成計画）策定を予定していた港について、全て策定することができたため、事業完了としている。														
見直し方向性															

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

3 当初

事 項	県営住宅共用部電灯 L E D化事業費								予算主管課	建築住宅課	
事 業 概 要	2050年カーボンニュートラルを見据えた県営住宅における省エネルギー化の推進を図るため、共用部電灯（外灯、共用廊下灯、自転車置場灯など）のLED化改修を進める。								始期	2023	
									終期	2026	
K P I	県営住宅共用部電灯の温室効果ガスの年間削減量 ※今後建替予定等の住宅を除く										
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
	R 4 年 度		目標値	23.88 t-CO2	目標値	47.76 t-CO2	目標値	71.64 t-CO2	目標値	95.52 t-CO2	
	実績値	0 t-CO2	実績値	20.81 t-CO2	実績値	38.98 t-CO2	実績値	38.98 t-CO2	実績値	t-CO2	
	ストック /フロー	ストック	達成率	87.14 %	達成率	81.6 %	達成率	54.4 %	達成率	%	
	コ ス ト		最終現計 予算額	77936 千円	最終現計 予算額	70574 千円	最終現計 予算額	71734 千円	最終現計 予算額	千円	
			決算額	54520 千円	決算額	60483 千円	決算額	200 千円	決算額	千円	
				繰越額	67806 千円	繰越額	千円				
								不用額	3728 千円	不用額	千円
7 年 度	要因分析	要因 資材納期が想定以上に必要となり、全体工期に遅れが生じたことから目標達成に至らなかった。									
		総括									
	見直し方向性	維持	R6年度に実施した設計委託業務の結果を踏まえると、KPIは目標達成と考えられることから、R8年度の見直しは考えていない。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。